

# A日程 9年連続増

## 29年度入試 本学志願者



センター試験に取り組む志願者たち(1月14日、津田沼校舎6号館で)

# 「センター利用」は減少

**NEWS CIT**

2017  
2.15

ニュースシーアイティ

千葉工業大学・入試広報部  
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼  
2丁目17番1号  
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344

<http://www.it-chiba.ac.jp/>

毎月1回(8月を除く)15日発行

### ニュースガイド

- 2面 超小型ロボット「CHERI」発表/UAE学生に宇宙教育/小林さん奨励賞/よさこい次代へ
- 3面 競基弘賞に吉田主席研究員/教員試験対策講座/第37回祝勝・奨励会
- 4面 建築した会が復活/吹奏楽部定期演奏会/出版案内/写真部卒業展のお知らせ

平成29年度入学試験 学科別志願者数		センター利用試験		A日程試験	
学部	学科	29年度	前年度	29年度	前年度
工学部	機械工学科	1,928	2,316	2,247	2,461
	機械電子創成工学科	1,383	1,531	1,632	1,707
	先端材料工学科	1,346	1,353	1,515	1,483
	電気電子工学科	1,643	1,870	1,911	2,003
	情報通信システム工学科	1,539	1,474	1,821	1,611
創造工学部	建築学科	1,181	1,314	1,336	1,375
	都市環境工学科	1,638	1,763	1,880	1,848
先進工学部	デザイン科学科	1,223	1,432	1,533	1,534
	未来ロボティクス学科	1,210	1,435	1,488	1,631
	生命科学科	1,585	1,817	1,811	1,896
情報科学部	情報工学科	1,092	1,272	1,202	1,332
	情報ネットワーク学科	1,341	1,376	1,571	1,492
社会システム科学部	経営情報科学科	1,898	1,906	2,298	2,074
	プロジェクトマネジメント学科	1,567	1,640	1,909	1,739
	金融・経営リスク科学科	863	961	1,204	1,040
全志願者数		786	898	1,076	976
		726	828	1,011	918
		22,949	25,186	27,445	27,120

1月14、15日(土、日曜日)の大学入試センター試験を皮切りに入試シーズンが始まった。本学も、センター試験を利用して入学志願者の可否を決める大学入試センター利用入試を実施。今年度本学会場では昨年度より

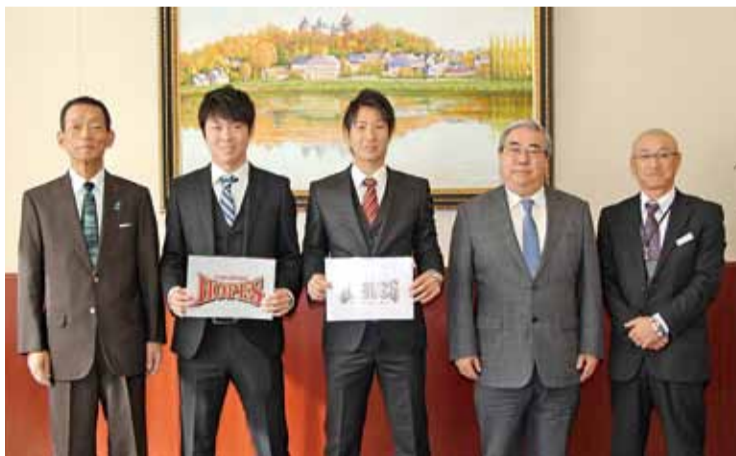
90人多い受験生1990人を受け入れ、両日とも試験は順調に終了した。今年度のセンター試験の志願者数は全国で約57万6千人。本学センター利用入試(前期)の志願者は2万2949人で、昨年より若干減ったものの多くの志願者が集まった。

続いてA日程入学試験が1月31日(火)から4日間、本学試験場と新設した郡山会場を含む15の学外試験場(1月31日、2月1日)で実施された。出願受け付け開始から間もなく、東京会場(東京スカイツリータワー)、高崎会場と次々に定員を満たし、最終的には7会場が定員を満たす結果となった。

試験日は4日間とも好



平成28年度の学位記授与式は、3月22日(水)午後2時から、幕張メッセ・イベントホールで挙行されます。入場受け付けは、学生・父母とも1時半から開始します。開式(2時)以降の入退場はできません。なお、学生は当日「学生証」を必ず持参してください。



(左から)瀬戸熊理事長、川上さん、野崎さん、小宮学長、硬式野球部の竹内秀一監督

### プロ野球へ 川上さん野崎さん 独立リーグ入り

体育会硬式野球部の川上祐作さん(経営情報科 学科4年)、野崎新矢さん(機械サイエンス学科 4年)の2人が、プロ野球独立リーグ「ルートインBCリーグ」に指名され、入団が決まった。

川上さん(外野手・日大習志野高出身)は、元大リーグ・岩村明憲さんが監督を務める福島ホープスに特別合格選手として、野崎さん(内野手)は元プロ野球選手で、現在は監督を務める栃木ゴールデンブレーブスにドラフト会議の地元推薦枠として指名され、今後の野球人生をかけることになった。

2人は瀬戸熊理事長、小宮一仁学長を表彰訪問。川上さんは「学生野球は終わり、これから仕事として野球に打ち込みます。4年間千葉工大で培ったことを胸に、支えてくれた人々への感謝を忘れず、今年中にNPB右の注ぎをかなえ恩返しします。」

野崎さんは「結果が全ての世界へ飛び込むことに重圧を感じますが、1試合、一球、一瞬にこだわり、全力でプレーしていきたいと思えます」と決意を語った。

天に恵まれ、大きなトラブルもなく終了。今年度、A日程志願者数は2万7445人で、昨年を325人上回り、9年連続で増加した。

志願者増の要因は、本学の知名度が全国に浸透してきたことなどが挙げられる。昨年1年間、本学の取り組みがテレビ・新聞などに数多く取り上げられた。熊本地震で倒壊寸前となった宇土市役所の調査に未来ロボット

2月1日)で実施された。出願受け付け開始から間もなく、東京会場(東京スカイツリータワー)、高崎会場と次々に定員を満たし、最終的には7会場が定員を満たす結果となった。

試験日は4日間とも好

技術研究センター(furo)が送り出した災害対応ロボット「櫻香」や、惑星探査研究センター(PERC)開発の長期流星観測カメラ「メテオ」が国際宇宙ステーションに設置され観測が始まったことなどは特に大きく取り上げられた。

ほかにも▽学生たちが活躍し、ロボカップ世界大会2016(ドイツ)でテクニカルチャレンジ5連覇を成し遂げた▽東

京スカイツリータウンキャンパスで本学の研究成果を広く発信している▽新習志野キャンパスに新食堂棟・体育館・国際交流会館が新しくオープンし、より豊かな大学生活に、受験生だけでなく保護者からも期待が寄せられている。などが千葉工大のブランドイメージを向上させ、志願者を集めることにつながったとみられている。

独立リーグ セ・パ両リーグを持つ日本野球機構(NPB)や米メジャーリーグ、マイナーリーグに属さない地域組織のプロ野球リーグ。日本独立リーグ野球機構(IPL)は2014年に設立。現在、準加盟を含め16球団が2リーグに分かれてプレーしている。

# 超小型「CHERI」発表

## fuRoロボ 天井裏を点検、建物管理



公開された新ロボット「CHERI」と報道陣

fuRoのロボットがまた進化！ 本学未来ロボット技術研究センターと大成建設(株)は1月13日、東京スカイツリータウンキャンパスで、共同開発した遠隔操縦の超小型探査ロボットによる天井裏点検システムを記者発表しました。

井裏点検システムを記者発表した。

運搬も操縦も一人で大成建設と共同開発

近年、大きな地震による建物の天井崩落などの事故が社会問題化してお

り、建築物を維持管理するための劣化診断や耐震診断などの点検作業の重要性が高まっている。こうした要請に応えるよう開発されたこのシステムの中心となるのはfuRoが新開発した6クロウラー型ロボットの「CHERI」(シェリ)。「原発ロボットのシステムをコンパクト化し、全長35センチ、高さ9センチ、重量は従来の10分の1の4.5キロ。非構造部材や電気配線・配管などが錯綜し、狭くて暗いために点検口からの目視に頼らざるを得ない天井裏点検で、人に代わって活躍すると期待されている。

東日本大震災で破壊された東京電力福島第一原発原子炉建屋の内部調査

では、fuRoが開発した「Quince」(クインス)、「Rosemary」(ローズマリー)、「Sakura」(サクラ)の3機種合わせて5台が活躍している。

また、昨年4月の熊本地震で崩壊寸前となった宇土市役所庁舎の内部調査に活躍した「櫻杏號」は、これらの原発ロボットを進化させたものだ。これらの技術を応用した「CHERI」は小型・軽量ながら、高さ15センチの段差を乗り越えて天井裏を自在に動き回れる踏破性を保持。新開発の小型カメラは少ない光量でも鮮明な映像を撮影できる上に、30センチの高さまで伸び上がるリフトアップ機能を備えている。遠隔操縦システムも原発ロボ

ットで培った要素技術を活かした。これによって女性でも一人で持ち運びができ、1人で操縦できるパーソナルな災害対応ロボットが実現した。

fuRoと大成建設は建物点検業務を行う調査会社などと連携しながら、実際の建物での実証実験を積み重ねてさらなる改良を進め、本格的な実用化を目指していく。

記者発表には本学から小宮一仁学長、古田貴之fuRo所長、「CHERI」開発担当の西村健志研究員らと大成建設の建築技術開発担当者が出席。

テレビ局や新聞、専門紙・誌など28社の記者やカメラマンが集まり、「千葉工大のロボット」に関心を示していた。



関係にあるかを分析。遠隔者同士の共同作業を支援するマルチメディアやバーチャルリアリティシステムの構築、CG映像などコンテンツ作成の支援システムの開発を行っている。

小林さんらは、CG作品のモデルデータをウェアラブル端末で提供し、関係にあるかを分析。遠隔者同士の共同作業を支援するマルチメディアやバーチャルリアリティシステムの構築、CG映像などコンテンツ作成の支援システムの開発を行っている。

小林さんは「初めての学会発表でも緊張しましたが、準備時間が短く、不安も多かったですが、賞をいただけるとも光栄です。指導していただいた中村教授に感謝しています」と語った。

# UAE学生に宇宙教育

## ▼PERCCが新習志野などでロケット研修

中東の産油国で、日本にとっては最大の原油供給国の一つであるアラブ首長国連邦(UAE)の大学生が1月、本学新習志野キャンパスなどで、惑星探査研究センター(PERC)の秋山演亮(あきやまのぶあき)主席研究員らによる1週間の「宇宙教育」に挑戦した。

「UAE宇宙教育プログラム」(UAE Educational Program in Japan)と名づけられたこの研修は、「将来、わが国の宇宙開発に携わ



UAEの学生たちと研修の様子



UAEとの親密な関係を重視する資源エネルギー庁が内閣府宇宙開発戦略推進事務局に協力を依頼し、一般財団法人日本宇宙フォーラムが行った研修機関の公募に、宇宙教育に関してわが国有数の実績がある本学が応募してPERCCでの受け入れが決まった。

正月最後の1月2日、東京スカイツリータウンキャンパスで行われたプログラム開会式にUAEと学生12人(男子4人、

女子8人)、教員1人など計16人、日本側は本学から小宮一仁学長、松井孝典(PERC所長)、宮川博光の両常務理事のほか、内閣府と日本宇宙フォーラムの担当者らが出席。

式の後、UAEの学生たちはArea II惑星探査ゾーンやArea Iロボット技術ゾーンを見学。300インチ3D宇宙シアターで上映された「宇宙138億年の旅、地球そして生命」の迫力に歓声を上げていた。

1月3日から12日まで、新習志野キャンパスや千葉市花見川区の千種校地、和歌山市などで実質7日間の日程で行われた研修で、UAEの学生たちは秋山主席研究員や機械電子創成工学科の和田豊准教授の指導で3本クラスタータイプのモデルロボットの製作と打ち上げを実際に経験し、ハブアンドスポーク型の燃

焼実験と打ち上げを見学した。

また、産業技術大学院大学の嶋津恵子教授によるロケットのシステムエンジニアリングの授業を受け、1月4日には宇宙飛行士の山崎直子さんの講演を聴いた。

この間、ティーチングアシスタントとして本学工学専攻博士後期課程1年の川端洋さん、機械サイエンス専攻修士1年の坂野文菜さんを始め東京工大、首都大、立命館大、和歌山大の計8人の大学院生が同行。研修の手助けをすると同時に親睦を深めた。

研修は開会式のあいさつを含め全て英語で行われた。

11月5、6日「ドリーム夜さ来い祭り」では「アクアシティお台場賞」を受賞した。風神三代で演舞する最後の外部イベントで、テーマを『ドリーム・ジャンパー5億にも勝る感動を』と決めて、力いっぱい演舞を展開。そのエネルギー溢れる様子が評価された。

メンバーたちは夏から



アクアシティお台場賞を受賞

# よさこい有終 次代へ

秋以降は▽9月4日「天江戸ソラン祭り」(6位入賞)▽10月8、9日「東京よさこい」(三菱地所株 式会社賞受賞)と連続受賞。

11月5、6日「ドリーム夜さ来い祭り」では「アクアシティお台場賞」を受賞した。風神三代で演舞する最後の外部イベントで、テーマを『ドリーム・ジャンパー5億にも勝る感動を』と決めて、力いっぱい演舞を展開。そのエネルギー溢れる様子が評価された。

メンバーたちは夏から



今年度よさこいソラン風神のメンバーたち

# 小林さん奨励賞

## ▼CG作品評価支援システム発表

情報処理学会の第15回情報科学技術フォーラム(2016FIT)昨年9月7〜9日、富山市の富山大五福キャンパスで開催)で、小林晴菜さん(情報科学専攻修士1年、中村直人研究室II写真右下)が「CG作品演習におけるヒアレビュー(相互評価)支援システムの改善」を発表し、奨励賞を受賞した。

小林さんは「初めの学芸発表でも緊張しましたが、準備時間が短く、不安も多かったですが、賞をいただけるとも光栄です。指導していただいた中村教授に感謝しています」と語った。

# よさこい有終 次代へ

体育会の「よさこいソラン風神」チーム(桑名広季主将11生、環境科学科3年、部員148人)は、昨年も各地の大会に参加して成果を挙げた。

秋以降は▽9月4日「天江戸ソラン祭り」(6位入賞)▽10月8、9日「東京よさこい」(三菱地所株 式会社賞受賞)と連続受賞。

11月5、6日「ドリーム夜さ来い祭り」では「アクアシティお台場賞」を受賞した。風神三代で演舞する最後の外部イベントで、テーマを『ドリーム・ジャンパー5億にも勝る感動を』と決めて、力いっぱい演舞を展開。そのエネルギー溢れる様子が評価された。

メンバーたちは夏から

# 「競基弘賞」に吉田主席研究員

### ▼ 災害対応ロボットのシステム開発

本学未来ロボット技術研究センター（f u r o）で災害対応ロボットを開発している吉田智章主席研究員に「第12回競基弘賞」学術業績賞が贈られた。授賞理由は「一人の侵入が難しい場所で活動するロボットのシステム開発」。

同賞は阪神淡路大震災で死亡した神戸大学大学院生・競基弘さん（ロボット技術専攻2当時23歳）の名を冠し、レスキュー工学研究者らを表彰しようとするNPO法人「国際レ



受賞講演で「櫻杏號」による宇土市役所の内部調査を説明する吉田主席研究員＝毎日新聞提供

スキューシステム研究機構（神戸市）が創設した。授賞式は1月11日、神戸市長田区・ふたば学舎で行われ、吉田主席研究員が記念講演した。

吉田主席研究員は、人が入れない過酷な災害現場で活動するクローラー型ロボットのシステム開発を担当。完成機「クイーンズ」は東日本大震災の際、国産機として初めて東京電力福島第一原発の建屋内に入り情報収集。熊本地震では「櫻杏號」が余震が続く中、宇土市役所の損壊状況を内部調査した。今回はそうした実績が評価された。

今回、学術業績賞に並ぶ技術業績賞は該当者なし。奨励賞には4人と1団体が選ばれた。

は神戸市出身で、阪神淡路大震災で被災。受賞について「被災者の妻から開発を期待され、励まされてきた。災害で役に立つロボットをこれからも作りたい」と話した。

# 先輩3人がアドバイス

### ▼ 教員試験対策講座 今年も

今年も教員採用試験対策講座(教職課程運営委員会主催)が1月28日、津田沼キャンパスで開か



④ 採用試験についての講義風景  
⑤ 学生たちに資料の世話をする西村さん

れ、教職課程を選んだ学生30人が参加した。草野滋之委員長（教育センター・社会教室）があいさつした後、2016年度



採用試験に合格した卒業生が体験報告しアドバイスをした。また教職課程担当教員が試験の傾向と対策をミニ講義した。

今回、後輩に報告してくれたのは、卒業後も科目等履修生として在籍中の西村華奈さん（数学）▽上越教育大の教職大学

院に進学した平林隆弘さん（数学）▽特別任用講師として県立銚子商業高等学校に勤めている渋谷亮介さん（数学）の3人。

教員採用の枠が広がってきているとはいえず、学部卒業と同時に教員採用試験を突破するのは簡単ではないこと、他方で教員になる道は多様にあること、などが報告で示された。

終了後は報告者を囲み「数学の楽しさとは何か」「教員採用試験の期間中に不安はなかったか」などと質疑や談笑が続けられた。

教職課程運営委員は今後も、講座や日常的な指導を通じて、教職課程受講生への支援を続けていくという。

## 14クラブを表彰

## 第37回祝勝・奨励会

表彰されたクラブは以下のとおり。  
平成29年2月8日(水)16時～ 津田沼校舎3号館 学生食堂で

所属	クラブ名	主将・部長等	部員数	祝勝奨励事由	日付		
体	空手道部	電情4 星野 寛治	13名	千葉県空手道選手権大会	優勝	5/3	
				東都六工大空手道選手権大会	優勝	6/26	
				男子団体組手	優勝		
				男子個人組手 (PM 4 山本 峻也)	優勝		
	弓道部	情報2 川路 空夏	56名	千葉県学生弓道選手権大会	優勝	5/3	
				関東学生弓道選手権大会	優勝	9/24	
				秋季リーグ戦中関東ブロック (男子)	2部優勝		
剣道部	ロボ3 田中 志弥	28名	習志野市民剣道大会	男子個人戦 (生環3 吉野 翔平)	優勝	10/2	
育	サイクリング部	機サ2 生嶋 大暉	46名	筑波8時間耐久レースin サマー	OMクラス	優勝	7/9
	自動車部	機サ3 森戸 亮生	35名	全関東学生ジムカーナ新人選手権大会	女子個人の部 (デザ3 石井 与詩乃)	優勝	2/23
				全関東学生ダートトライアル選手権大会	男子個人の部 (機サ4 石橋 悠人)	優勝	6/26
				全日本学生ダートトライアル選手権大会	団体戦	出場	8/7
				全日本学生ジムカーナ選手権大会	団体戦	出場	8/21
会	卓球部	電情2 渡辺 夏音	45名	習志野四大学対抗卓球大会	男子団体戦	優勝	6/26
	バドミントン部	電情3 五十嵐 貴紀	69名	千葉県学生バドミントン春季リーグ (男子)	Bクラス優勝 Aクラス昇格	7/10	
				千葉県学生バドミントン春季リーグ (女子)	Bクラス優勝	9/22	
	よさこいソーラン風神部 (奨励として)	建都2 武田 光太	209名	市区町村や各種団体からの要請を受け、地域の祭りなどで演舞を行っている。また、自らコンテストにも参加し、10月8～9日、東京都豊島区で107団体が参加して開催された「東京よさこい」で企業賞【三菱地所(株)賞】を受賞するなど、積極的な活動が高く評価できる。			
文	総合工学研究会	ロボ2 石川 直生	17名	ROBOT JAPAN 12th	フライ級 (電情2 富田 修平)	優勝	8/31
	将棋倶楽部	材料1 中根 公輝	18名	関東大学将棋連盟主催 春期団体戦	C級Ⅱ組	優勝	5/1
	フィッシャークラブ (奨励として)	電情3 徳田 朋之	54名	全日本学生釣魚連盟関東支部ルー・フライ大会で受賞。また、数多くの課外活動を行い文化会に大きく貢献した。			
	鉄道倶楽部 (奨励として)	電情2 豊崎 貴之	28名	幼稚園や企業等の他団体のイベントに赴き、意欲的に活動した。千葉トヨペット60周年イベントや幕張車両センターフェスティバルでミニ電車による乗車イベントを実施し、大学と地域との交流に大きく貢献した。			
	会	写真部 (奨励として)	生環2 櫻井 慧太	62名	春期学外展「はるてん」夏期学外展「ナツテン」など地域施設を利用した展覧会を実施し、地域の方々に向けて文化会の広報活動を継続的にを行い、文化会の活性化に尽力した。		
電気研究部 (奨励として)		電情2 高橋 純	42名	意欲的に外部展示場での活動を行った。また、コンテストに多数参加し、団体及び文化会の広報活動を積極的に行い、文化会の活性化に尽力した。			



著者 松井孝典・千葉工大惑星探査研究センター所長  
出版 岩波新書  
価格 920円(税込み)

### 文明は「見えない世界」がつくる

## 科学が明かす宇宙・生命

比較惑星学からアストロバイオロジー、文明論



松井孝典所長

人類は1万年にわたり「法則」「原理」といった数式などでしか書き記すことができなかった。見えない世界は、膨張を続けてきた。そして今、この「見えない世界」の解明が驚くほどの勢いで拡大している。それは何を意味するのか、という問いかけで本書は始まる。

紀元前7世紀のカルデア人の曆から説き起し、アインシュタインの相対性理論から最新の「エンターテインメント」まで、難解な理論を自在に操って「見えない世界」の「見える化」の歴史をたどった筆者は、最後に地球の生命は宇宙から運ばれてくるという「パンスペルミア」説を積極的に検証していく必要があると指摘し、こう結んでいる。

「解明された「見えない世界」は、この宇宙が生命と知的生命体に満ちあふれた宇宙であることを示唆しているのです」

## 出版

人類は1万年にわたり「法則」「原理」といった数式などでしか書き記すことができなかった。見えない世界は、膨張を続けてきた。そして今、この「見えない世界」の解明が驚くほどの勢いで拡大している。それは何を意味するのか、という問いかけで本書は始まる。



したた会に集まった同窓生たち

# 建築しつた会 復活

▼ 学科名が戻り 同窓110人初代会

15年前に解散した建築学科の同窓会「CITA会」(通称しつた会)が再発足の運びとなり、初代会が昨年11月20日、津田沼校舎1号館20階で開かれた。

しつた会は、同学科が初めて卒業生を送り出した1966年に発足。2002年に学科再編成で建築学科の名称がなくなったため解散。しかし、昨年の工学部再編で「建築学科」の名が復活したことを受けて、しつた会も再出発することになった。

初代会は津田沼祭の開催期間中に開かれ、全国から約110人の同朋が



## 吹奏楽部 年度を飾る12曲

冬の風物詩となった文会吹奏楽部(黒澤匠部長)機械サイエンス学科3年、部員48人の定期演奏会がクリスマス前の昨年12月23日、津田沼校舎向かいの習志野文化ホールで開かれたしつた会。吹奏楽部は学位授与式や入学式など大舞台のほか、地域活動にも参加して演奏。定期演奏会は今年度の活動の集大成で、引退する3年生部員には最後の舞台となる。「エンターテインメント

し、支援・寄与できるような積極的な方針が次々と打ち出された。続く懇親会では、昔懐かしい面々があちこちで話の輪をつくり、会場は温かいムードに包まれた。今回は3年後の2020年に開催する予定。

「吹奏楽のための風之舞」ほか12曲を心地よく演奏し、来場者を楽しませた。黒澤部長は「今年度ナンバーワンの演奏ができました。お客様、応援してください。感謝しています。顧問の大川茂樹・未来ロボティクス学科教授は「昨年に続き私も仲間に入れてもらい、若い音楽家たちとのひとときを楽しめました」と語っていた。

## PPA

今年度は、如何いう訳が野鳥がとっても気に入ら始めて、ポケモンGOでもするかの様にお正月休みは、犬の散歩を口実に、双眼鏡片手に千葉の公園を散策してしました。その時のお気に入り、カワセミで色々な場所で見つけては、幸せな気分になっていました。

今年度は、長い人生においては短い期間ですが、とても大切な時期です。私達は、この事を意識して、忙しさに翻弄される事なく、常に学生一人一人に目を向けて対応する事の重要性を忘れず、いなればと思います。また、学生さんには、充実した学生生活を送ってもらい、是非「幸せの青い鳥」を見つけて欲しいものです。

## 四季雑感

今年も入試の時期に突入した。本学でもセンター試験で二千名近い受験生を受け入れた。入学試験の業務は益々重要となってくる、まさに教職協働の場であり、千葉工大のチームワークが試される場面の一つだと毎年思う。

今年度のセンター試験もチームワークの甲斐もあり、大きなトラブルも無く無事に終了する事が出来た。とは言え、毎年、英語のリスニング試験は緊張する。試験時間中、トラブルが無い事を祈るばかりで、試験終了の時間を迎えるのが待ち遠しい。

残り入学試験を控えた受験生と同様、春が待ち遠しい今日この頃。  
施設課 片岡 真人

## 編集だより

クルクルまわる時計の針のように、時間に追いかける毎日を過ごしている。

あまりに忙しいと、時々、なぜ頑張っているのかを忘れてしまう。子どもたちのため、自分のため、仕事のため... 限られた時間を有効に過ごすために「好きなきこ」をするた

## 千葉工業大学文化会写真部 卒業展

毎年好評の文化会写真部卒業展が3月14~18日の5日間、開かれます。いろいろな作品がずらり。ぜひご来場ください。

時間: 14日17時10分~21時、18日10時~16時まで  
会場: 千葉市文化センター5階 市民サロン(JR千葉駅東口から徒歩10分、千葉都市モノレール 葭川公園駅から徒歩)